スポーツの祭典に優勝の華ひらく

全国・信越・県大会で大活躍

先月号広報で横越野球クラブが高松宮賜杯軟式野球県大会で準優勝したことを既報したが、こんどは、全日本青少年銃剣道大会で本村青年が宿願の全国優勝をしたのをはじめ、県中学校総合体育大会で横越中学校女子がバスケットで優勝するなど本村選手の活躍はめざましく、本村スポーツ界のこれからの後継者に大きな指標をあたえてくれた。

全国大会で初優勝飾る

第四回青少年銃剣道大会で

第四回全日本青少年銃剣道大会は、八月六日東京都体育館で行われた。

本村から監督の塚原宏氏をはじめ、高橋憲男、田村茂栄長瀬正夫君が、新潟県代表選手として出場し、見事全国優勝を飾った。

同大会は、小学、中学、高校、大学、青年一般の部があり、本村青年らは、青年一般の部（出場数二八都道府県）に出場した。

一回戦は、東京、山口、新潟で決勝トーナメントの出場権をかけてリーグ戦が行われ本村青年は、圧倒的な強さで勝った。

二回戦は、第一回大会で優勝した静岡を、三回戦は、強豪長崎をそれぞれくだした。

準決勝でも、第二回大会優勝の大阪を二対一で敗り待望の決勝戦にまで勝ち進んだ。

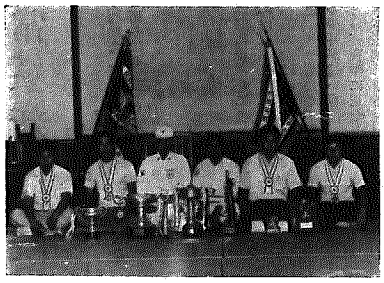
決勝戦は、熊本と対戦二対一で勝ち見事優勝した。

横越青年銃剣道は、過去三回この大会に出場したが、いずれも強豪と対戦し、優勝をすることができなかったが（二回敢斗賞を得ている）、今年こそと毎週三回猛練習を重ね、宿願の全国優勝をすることができた。

一方、個人戦では長瀬君が新潟県からただ一人出場、準決勝で兵庫の福岡貞義君に敗れたものの、三位に入賞した。

横越村銃剣道支部は、現在会員三十六名（うち青年八名）で、その強さは、県下にその名が知られ、数々の優勝歴をもっているが、比較的高年令者が多いこのスポーツのため、同支部は、青年の育成に努力され、四十六年には、青少年育成の功労で、全国表彰をうけている。

同支部には、青年の全国優勝のほかに、銃剣道が日本体育協会加盟が承認されたことや、茨城国体から銃剣道種目が十三年ぶりに復活されるという朗報が相次いでいる。



写真右より
選手　長瀬正夫　三段
選手　高橋憲夫　四段
県監督　塚原　宏氏
県連理事長　石附福治氏
選手　田村茂栄　四段
選手　吉田吉次　二段（新津市）

村民野球　真紅の優勝旗は

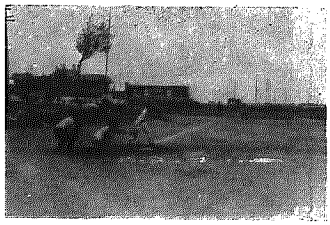
ゴールデン・アームズの手に

公民館主催の、48年度村民野球大会は、8月19日、26日の二日にわたり横中グランドと、焼山野球場を会場に、参加16チームで熱戦を展開し、ゴールデンアームズが初優勝をした。

試合経過としてベスト「4」に、ゴールデンアームズ（木津）。横越村農協。横越上青年会。横越村役場Bが勝ち残り、準決勝では農協と、役場Bが敗れ、横越上青年会と、ゴールデンアームズの間で優勝戦が斗かわれ投手戦となった。

しかし、ゴールデンアームズは4回に於て、相手投手の速球を打ちにくいと見るや、バント戦法を行い、勝ち越しの一点をあげ、6回にも同じくバントで決定的な2点を加えて、4対1と上青年会を敗り、今年度新しく制定された〝真紅の優勝旗〟を手にし、初優勝を飾った。

ゴールデンアームズは、チーム結成一年目で、チームプレーは今大会でも抜群の技術、選手は小細工のきく者がそろい、加えて、左腕速球派の酒井投手をもっているチームである。



第5回村民運動会

期日　10月21日（予定）

多数の参加を希望いたします。

横越公民館・横越村連青・横越村連婦

中学女子　籠球で県大会に初優勝

――男子も三位入賞の活躍――

第四回新潟県中学校総合体育大会は、八月八日から三日間、長岡市に於て開幕した。

この大会は、県下中学生のスポーツの祭典として、陸上を始め球技、水泳、体操、柔剣道、相撲など十三種目に技を競うハイライトこの大会の第一回（45年）東北中（長岡）を69対51。準決勝は中野小屋（新潟）と対戦37対22と敗り、順当に勝ち進み、決勝戦にのぞんだ。決勝戦は新井中（新井）を下して進出した新津一中と対戦したが、終始試合を有利に進めた横越が45対22と新津を下し念願の優勝をなし得て、感激の涙と嬉びをかわしていた。

佐々知監督談「今年の女子チームは、超中学級と評され持ち前の速攻、抜群のシュート、高度なバスケット技術でチームプレーに徹した成果が好成績となったものと思う。男子は、今年こそ過去二年間（二位）の雪辱をと、練習を重ねた。選手は粘り強さと、俊敏なプレーで攻撃し、群を抜いているが、最後には身長差がたたり敗れた」。

横中バスケットが県内のトップに進出した事は、佐々知教諭の熱心な指導、きびしい練習に耐えた選手の努力が実をむすんだものであろう。

またも一点差で惜敗

籠球信越大会で

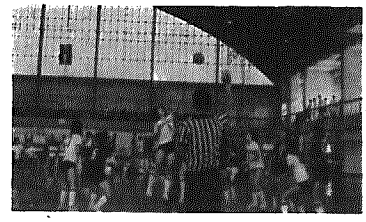
県総体大会に先だけ、八月五日長野市で開催された「第三回全日本中学校バスケットボール選抜優勝大会・信越地区予選会」に、県代表（男女二チーム）として、横中女子チームが選抜された。

横中は一回戦に、長野伊那中を51対30で敗って決勝戦に進出、決勝戦で塩尻西部中（長野）と対戦したが、42対41と一点差で惜敗、全日本選手権出場の夢は消えた。

横中バスケットは、第一回大会に男子が出場、決勝で高田城北中と県勢同志で争ったが、51対50と一点差に敗れた過去があり、またも、1点差の壁の厚さに涙したもの。

君が優勝。同46年には、バスケット男子が二位に柔道がベスト8に勝進んだ好成績が残っている。

今大会には、バスケット男女が、地区代表で出場、参加16ケ校のトーナメント戦を展開した。この結果、男子は名門の東北中（長岡）を47対43と敗り、準決勝で城北中と対戦40対27と敗れ、三位に終った。女子は予想通りの強みを発揮し、第二戦から出場し



村連青も県大会で

籠球・剣道部門で三位

8月19日新潟市を中心会場に開催された〝新潟県青年人戦で、高橋憲夫君（横越農協）が優勝を飾ったほか、団体戦で三位に入賞し、戦前から中瀉代表として出場した本村連青チームは善戦し、特に個人戦で、高橋憲夫君（横越農協）が優勝を飾ったほか、団体戦で三位に入賞し、戦前から中瀉の代表として出場した横越村連青のバスケットチームは、一回戦を新潟赤塚と対戦、61対47で敗り、準決勝に進出し、六日町クラブと対戦、40対33のわずか7点差で敗れ決勝進出ができなかった。

また同大会、剣道の部でも中瀉代表として出場した本村連青チームは善戦し、特に個人戦で、高橋憲夫君（横越農協）が優勝を飾ったほか、団体戦で三位に入賞し、戦前から中瀉の代表として出場した横越村連青のバスケットチームは、一回戦を新潟赤塚と対戦、61対47で敗り、準決勝に進出し、六日町クラブと対戦、40対33のわずか7点差で敗れ決勝進出ができなかった。

ジュニアリーダー　野外研修を黒川村で

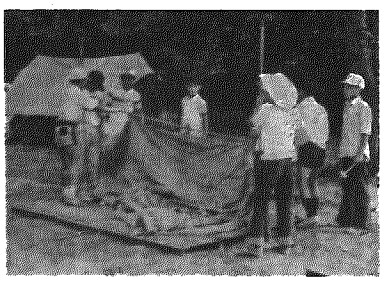
野外活動の体験を通して、集団での行動の仕方や、野外活動の基礎的技術を身につける。

とのねらいで、7月28日29日の両日、北蒲黒川村の「県下越スポーツハウス」附属キャンプ場を会場に、〝ジュニアリーダー研修会〟を公民館が実施した。

研修会には、村内各小学校児童32名（横越10、小杉12、沢海10）と、講師団10名が参加した。

第一日目は、キャンプの基礎技術や、テント設営の方法、はんごう炊さんの方法などを勉強し、夜はキャンプ・ファイヤーで、各童謡に、特意のゲームを出しあい、楽しい一夜をおくった。

第二日目は、飯盒内川原へハイキングと、スポーツ・ハウスで、ゲームを行い、同日五時帰村した。



横越・大江山地区　親善俳句大会

日時　昭和四十八年十月十四日午前九時から

会場　横越村公民館

兼題　○草の実　○水澄む　○秋袷

クラブと対戦、40対33のわずか7点差で敗れ決勝進出ができなかった。

校吟〆切　九月二十五日まで

六句一組（一人一組限り）横越村公民館俳句大会係

席題　当日発表十時〆切

入花料　六句一組三百円